

証券コード5471

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special

第96期第2四半期 (中間)報告書

(2019年4月 1日から
2019年9月30日まで)

 **大同特殊鋼株式会社**

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第96期第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)の事業の状況等につきましてご報告申し上げます。

事業の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産は弱含みで推移しましたが、雇用環境の改善や企業収益の底堅さを背景に、景気は緩やかな回復基調となりました。また、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速、英国のEU離脱問題など、不安定な世界情勢から先行きは依然として不透明な状況が継続しました。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車関連向けの受注は、グローバルでの生産減少を受け、前年同期比で減少しました。また産業機械向けの受注も減少基調が継続し、半導体関連の分野では在庫調整もともない、受注は大幅に減少しました。その結果、鋼材売上数量は前年同期比で減少しました。原料・資材関係では、鉄スクラップ価格は国内需給の緩和により第2四半期より大きく低下しましたが、製鋼工程で使用する黒鉛電極等副資材価格は上昇し、エネルギーコストも増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は、前年同期比171億67百万円減収の2,524億76百万円、経常利益は、前年同期比38億58百万円減益の137億11百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、固定資産売却益等により前年同期比4億98百万円増益の112億57百万円となりました。

中間配当金につきましては、1株につき55円とさせていただきます。

なお、通期(2020年3月期)の連結業績予想につきましては、次のとおり前回(2019年4月26日)発表の業績予想を修正しております。

2020年3月期の連結業績予想

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

(単位:百万円)

		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
2019年3月期 (実績)		543,255	33,815	34,343	21,182
2020年 3月期	前回発表予想 (2019年4月26日)	530,000	31,000	31,500	24,000
	今回修正予想 (2019年10月31日)	493,000	29,000	29,000	21,500

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント業績は、以下のとおりであります。

特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連のグローバルにおける生産減少、産業機械向けの需要減速により前年同期比で数量が減少しました。工具鋼も、自動車関連の減少を受け数量が微減となりました。主要原材料である鉄スクラップ価格は、国内需要の緩和により下落しましたが、エネルギーコストは増加し、製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も高止まりしました。販売価格は、昨年度実施した価格改定により上昇しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材部門の売上高は、売上数量の減少により前年同期比4.8%減少の971億17百万円となりましたが、営業利益は、売価改定および鉄スクラップ価格の下落が寄与し、前年同期比10億76百万円増益の32億15百万円となりました。

機能材料・磁性材料

ステンレス鋼・高合金は、自動車向けにつきましては燃費改善に向けた動きの中で需要が堅調に推移しましたが、半導体製造装置向けの落ち込み、中国経済減速による産業機械向け減少により、また、磁石製品は、中国自動車販売の減少等を受け、それぞれ在庫調整の動きもともない減少しました。粉末製品は、海外需要の減少により売上高が減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料部門の売上高は、売上数量の減少により前年同期比8.6%減少の846億93百万円、営業利益は、内容構成悪化等も加わり前年同期比44億55百万円減益の69億46百万円となりました。

自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、半導体関連需要が減少しましたが、プラント関連需要が堅調に推移し、売上高は、前年同期比で増加しました。エンジンバルブ部品は、傘中空バルブなどの数量増加により売上高が前年同期比で増加しました。型鍛造品は、自動車生産の減少を受け、精密鑄造品は、中国自動車の販売減少にともなうターボ関連製品の需要が減少し、売上高は前年同期比で減少しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品部門の売上高は、売上数量の減少により前年同期比9.9%減少の499億28百万円、営業利益は、前年同期比5億14百万円減益の6億20百万円となりました。

エンジニアリング

当第2四半期連結累計期間におけるエンジニアリング部門の売上高は、前年同期比2.3%減少の123億61百万円となりましたが、営業利益は、内容構成良化により前年同期比7億70百万円増益の15億24百万円となりました。

流通・サービス

新規連結会社の増加により、当第2四半期連結累計期間における流通・サービス部門の売上高は、前年同期比22.2%増加の83億75百万円、営業利益は、前年同期比72百万円増益の14億9百万円となりました。

当社グループのセグメント別売上高

セグメント区分	第95期上半期 (2018/4-9)		第95期下半期 (2018/10-2019/3)		第96期上半期 (2019/4-9)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
特殊鋼鋼材	102,048	37.8	105,695	38.7	97,117	38.5
機能材料・ 磁性材料	92,660	34.4	91,893	33.6	84,693	33.5
自動車部品・ 産業機械部品	55,426	20.6	54,503	19.9	49,928	19.8
エンジニアリング	12,652	4.7	14,876	5.4	12,361	4.9
流通・サービス	6,856	2.5	6,642	2.4	8,375	3.3
合計	269,643	100.0	273,611	100.0	252,476	100.0

(注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

対処すべき課題

当期の世界経済は、米中貿易摩擦の不透明感から景気減速への懸念が高まっており、景気は弱含みで推移することが見込まれています。また、英国によるEU離脱問題や地政学的な緊張の高まりも、景気下振れのリスク要因となっております。日本経済につきましては、米中貿易摩擦の長期化を受け、生産や輸出の弱さは継続すると見込んでいます。こうした経済環境の中、主要需要先である自動車関連は、グローバルでの生産が前年度対比で減少する見込みであり、産業機械向け受注も景気減速にともなう減少が見込まれます。

一方、原材料となる鉄スクラップ価格は、国内需給の緩和を受け低位で推移する見込みであり、受注量減少のマイナス面を相殺することが見込まれます。

先行き不透明な経営環境ではありますが、市場の変化・お客様の動向を常に注視し、その変化に対応してまいります。

他方、中長期的な視点では、持続可能な社会の実現に向けた取り組みが地球規模での大きなテーマとなっております。お客様におきましても地球温暖化ガスの削減が大きなテーマとなっており、自動車の内燃機関や航空機のジェットエンジンの高効率化が求められています。自動車産業ではさらに、電動化などのパワートレインの多様化や自動運転、コネクテッドカー化など、100年に1度の大きな技術革新が起きようとしています。また、ビッグデータ、AI(人工知能)、IoT(モノのインターネット化)を活かしたデジタル革命が進んでおり、いろいろな産業界に変革がもたらされようとしています。それらにより、半導体需要の増加やロボットによる自動化等が進展すると見込まれます。

当社は、これらお客様の技術革新を、機能性に優れた素材を提供することで支えてまいります。例えば、内燃機関・ジェットエンジンの高効率化には高耐熱・高耐食ステンレス鋼や高合金を、自動車の電動化には高性能磁石や高機能粉末を、自動運転化には軟磁性材料等を提供してまいります。デジタル革命に対しても半導体製造装置に必要な高潔浄ステンレス鋼や自動化・ロボット化に必要な高性能磁石等、お客様の必要とする高機能な素材を提供することで、その進化・技術革新をしっかりと支えてまいります。

当社では、昨年6月に2020年度(2021年3月期)までの3年間を実行期間とする中期経営計画(大同特殊鋼グループ2020中期経営計画)を策定し公表いたしました。この実現のために、次の3点の行動方針のもと中長期的成長を目指してまいります。

①ポートフォリオ改革(構造材料から機能材料へ)

成長機会の多い機能材料・磁性材料セグメントへ積極投資を実施し、売上高トップセグメント化を目指します。全社の製品ポートフォリオを改革し、利益の最大化を目指してまいります。

前述のとおり、今後は耐熱性、耐食性、高潔度や磁気特性等の機能性に優れた素材へのニーズが高まる見込みです。ステンレス鋼、高合金、粉末といった機能材料や磁性材料の需要が継続的に伸びていくと想定しています。この動きを確実に捉え安定供給を果たすべく、生産能力の増強投資、ソリューション機能の強化を順次進めてまいります。本年9月に取得した愛知県知多市の固定資産につきましては、ステンレス鋼の新たな生産拠点として活用してまいります。また、長期的に大きな市場成長が見込まれる磁石事業につきましては、新たな研究所設立に向け、本年10月に岐阜県中津川市から同市の所有地を譲り受ける立地協定を締結しました。研究開発体制の強化等を進め、今後の成長に向けた準備を整えてまいります。

②事業基盤の強化(損益分岐点改善、経営体質強化)

長期継続的な成長を実現するため、事業基盤を強化してまいります。

事業全体の基盤である鋼材事業に関しましては、諸資材価格の高騰にともなう販売価格の是正に対してお客様のご理解をいただけるよう努力していくとともに、徹底したコストダウンを行い、再生産可能な適正マージンを確保することを目指してまいります。また、既存設備の能率向上、一貫歩留の向上、物流の整流化を進め、生産スループットの最大化を目指してまいります。持続可能な社会の実現に向け、環境投資も積極的に進めてまいります。事業基盤の根幹である人材に対しても働き方改革による生産性向上と人材育成の両立を目指してまいります。

③事業の再構築

採算の悪い事業についての見極めを行い、採算の取れる事業への再構築を進めてまいります。選択と集中を進めることにより経営効率を上げ、中長期的に資本効率を高めてまいります。

当社グループはグループ経営理念を「素材の可能性を追求し、人と社会の未来を支え続けます」と定めております。素材または素材に関する技術をもって素材が秘めている可能性をひきだし、新たな価値を創造することで、人と社会の未知のニーズに応え、その発展に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 石黒 武

四半期連結貸借対照表 (2019年9月30日現在)

当第2四半期連結会計期間末

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	306,852	流 動 負 債	184,355
現金及び預金	46,449	支払手形及び買掛金	43,258
受取手形及び売掛金	107,300	電子記録債務	26,782
電子記録債権	16,351	短期借入金	56,772
たな卸資産	131,004	コマーシャル・ペーパー	20,000
そ の 他	5,799	未払法人税等	5,315
貸倒引当金	△53	賞与引当金	7,830
固 定 資 産	344,260	その他の引当金	1,258
有形固定資産	240,863	そ の 他	23,138
建物及び構築物 (純額)	82,631	固 定 負 債	138,337
機械装置及び運搬具 (純額)	102,728	社 債	35,000
そ の 他 (純額)	55,503	長期借入金	72,497
無形固定資産	1,487	その他の引当金	4,013
投資その他の資産	101,908	退職給付に係る負債	10,635
投資有価証券	80,852	そ の 他	16,190
退職給付に係る資産	14,813	負 債 合 計	322,692
そ の 他	6,380	(純資産の部)	
貸倒引当金	△138	株 主 資 本	278,719
		資 本 金	37,172
		資 本 剰 余 金	30,448
		利 益 剰 余 金	214,751
		自 己 株 式	△3,653
		その他の包括利益累計額	14,557
		その他有価証券評価差額金	14,653
		繰延ヘッジ損益	△24
		土地再評価差額金	1,537
		為替換算調整勘定	492
		退職給付に係る調整累計額	△2,102
		非支配株主持分	35,142
		純 資 産 合 計	328,419
資 産 合 計	651,112	負 債 純 資 産 合 計	651,112

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (2019年4月1日から 2019年9月30日まで)

当第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

科 目	金 額	
売 上 高		252,476
売 上 原 価		210,167
売上総利益		42,309
販売費及び一般管理費		28,597
営業利益		13,711
営業外収益		
受 取 利 息	99	
受 取 配 当 金	975	
持分法による投資利益	375	
そ の 他	432	1,882
営業外費用		
支 払 利 息	418	
固定資産除却損	326	
環境対策引当金繰入額	295	
為 替 差 損	222	
そ の 他	619	1,882
経常利益		13,711
特別利益		
固定資産売却益	7,441	
投資有価証券売却益	33	7,474
特別損失		
固定資産圧縮損	2,772	
投資有価証券評価損	667	
そ の 他	259	3,699
税金等調整前四半期純利益		17,485
法人税、住民税及び事業税	5,611	
法人税等調整額	105	5,717
四半期純利益		11,768
非支配株主に帰属する四半期純利益		511
親会社株主に帰属する四半期純利益		11,257

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当社グループの主要な事業内容

セグメント区分	主要な事業内容
特殊鋼鋼材	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車・産業機械・電気機械向け部品用材料、建設用材料、工具鋼・金型用材料 ●特殊鋼鋼材加工、流通 ●原材料販売 ●運輸、物流
機能材料・磁性材料	<ul style="list-style-type: none"> ●ステンレス・高合金製品、電気・電子部品用材料 ●磁材製品 (OA・FA用モーター、自動車用メーター・センサー、計測機器用部品等) ●粉末製品 (HEV用磁性粉末等) ●チタン材料製品 (医療用チタン合金、形状記憶合金等) ●溶接用材料
自動車部品・産業機械部品	<ul style="list-style-type: none"> ●型鍛造品・熱間精密鍛造品・鋼機製品 (自動車・ベアリング向け部品等) ●自由鍛造品 (船舶・産業機械・電機・鉄鋼・化工機・石油掘削用部品、宇宙・航空機用部品) ●鋳鋼品 (鉄道用マンガンレール、自動車・産業機械・電機・各種炉用部品、高級鋳鋼品等) ●精密鋳造品 (自動車・産業機械・電機・通信機器用部品等) ●製材用帯鋸 ●エンジンバルブ ●圧縮機器・油圧機器・工作機械用部品
エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ●鉄鋼設備、各種工業炉およびその付帯設備、環境関連設備 (排水・排ガス・廃棄物等の処理設備)、工作機械等 ●機械設備の保守管理
流通・サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ会社製品の販売、福利厚生サービス、不動産・保険事業 ●ゴルフ場経営 ●分析事業

当社の主要な営業所および工場等

本 社	名古屋市東区東桜一丁目1番10号	
東京本社	東京都港区港南一丁目6番35号	
支店・営業所	大阪支店 福岡営業所	大阪府中央区 福岡市中央区
工 場	知多、知多型鍛造、知多帯鋼 星崎 渋川 粉末 君津 王子	愛知県東海市 名古屋市南区 群馬県渋川市 名古屋市港区 千葉県君津市 東京都北区
テクノセンター	滝春 中津川 築地 川崎	名古屋市南区 岐阜県中津川市 名古屋市港区 川崎市川崎区
研究開発拠点	技術開発研究所	名古屋市南区

重要な子会社および関連会社の状況

(注) ※印は、間接所有の株式を含みます。

①重要な子会社の状況

特殊鋼鋼材

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同興業株式会社 (名古屋市東区)	百万円 1,511	% 100.0	商事
大同DMソリューション株式会社 (大阪府大東市)	435	100.0	特殊鋼鋼材の加工および販売 金型および金型部品の製造および販売 鋼材および非鉄金属の熱処理および表面処理
大同テクニカ株式会社 (愛知県東海市)	40	100.0	鋼材の精整作業
大同エコメット株式会社 (愛知県東海市)	30	100.0	当社および子会社等から発生する廃棄物のリサイクル 製鋼用原料・資材の製造および販売
DAIDO DMS(THAILAND)CO., LTD. (タイ国チャチェンサオ県)	百万BAHT 257	※ 90.0	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売
天文大同特殊鋼股份有限公司 (台湾桃園市)	百万NT\$ 138	※ 73.4	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売
DAIDO DMS SINGAPORE PTE. LTD. (シンガポール国)	千S\$ 3,017	※ 85.0	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売
DAIDO DMS MALAYSIA SDN. BHD. (マレーシア国セランゴール州)	千RM 7,980	※ 89.6	金型用鋼および工具鋼プレートの加工および販売

機能材料・磁性材料

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
日本精線株式会社 (大阪市中央区)	百万円 5,000	※ % 42.9	ステンレス鋼線および金属繊維等の製造および販売
株式会社ダイドー電子 (岐阜県中津川市)	1,490	100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
下村特殊精工株式会社 (千葉県市川市)	297	※ 92.6	特殊鋼の引抜および研削品の製造および販売
日星精工株式会社 (名古屋市南区)	80	100.0	ネジおよびボルトの製造および販売
大同電工(蘇州)有限公司 (中国江蘇省)	千US\$ 21,000	※ 100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
THAI SEISEN CO., LTD. (タイ国サムットプラカーン県)	百万BAHT 320	※ 100.0	ステンレス鋼線およびダイヤモンドダイスの製造および販売
下村特殊精鋼(蘇州)有限公司 (中国江蘇省)	千US\$ 7,200	※ 65.6	特殊鋼の引抜および研削品の製造および販売
大同磁石(深圳)有限公司 (中国広東省)	5,600	※ 100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
Daido Electronics (Thailand) Co., Ltd. (タイ国アユタヤ県)	百万BAHT 140	※ 100.0	磁性材料および電子機器部品の製造、加工および販売
ORIENTAL SHIMOMURA DRAWING(M) SDN. BHD. (マレーシア国ペナン州)	千RM 3,000	※ 64.2	特殊鋼の引抜および研削品の製造および販売

自動車部品・産業機械部品

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
フジオーゼックス株式会社 (静岡県菊川市)	百万円 3,018	※ % 51.8	エンジンバルブ等の製造 および販売
株式会社大同キャスティングス (名古屋市中港区)	2,215	100.0	鋳造品および特殊鋼管 材の製造および販売
フジホローバルブ株式会社 (静岡県菊川市)	1,000	※ 68.1	輸送用機械器具、原動機および 汎用機その他一般機械器具関連 部品の製造、検査および技術提供
日本鍛工株式会社 (兵庫県尼崎市)	310	100.0	型鍛造品の製造および販売
東洋産業株式会社 (宮城県黒川郡大衡村)	160	100.0	型鍛造品の製造および販売
大同スターテクノ株式会社 (群馬県渋川市)	150	100.0	鍛鋼品の機械加工、精整 および熱処理等の請負
大同精密工業株式会社 (東京都豊島区)	90	※ 87.7	圧縮機部品、ターボ部品 およびカップリング等の 製造および販売
FUJI OOXZ MEXICO, S.A. DE C.V. (メキシコ国グアナファト州)	百万MXN 396	※ 100.0	エンジンバルブ等の製造 および販売
Daido Steel (Thailand) Co., Ltd. (タイ国チョンブリー県)	百万BAHT 550	100.0	型鍛造品の製造および販売
PT. FUJI OOXZ INDONESIA (インドネシア国西ジャワ州)	億IDR 2,262	※ 75.0	エンジンバルブ等の製造 および販売
富士気門(広東)有限公司 (中国広東省)	百万元 64	※ 100.0	エンジンバルブ等の製造 および販売
大同凱思英鑄造(蘇州)有限公司 (中国江蘇省)	百万円 400	※ 100.0	鋳造品を含む金属製品 の機械加工および販売
OHIO STAR FORGE CO. (米国オハイオ州)	千US\$ 26	100.0	型鍛造品の製造および販売

エンジニアリング

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
大同マシナリー株式会社 (名古屋市中南区)	百万円 310	% 96.0	工作諸機械および各種機械の製造および販売 機械設備の保守、点検および修理
大同環境エンジニアリング株式会社 (名古屋市中南区)	50	100.0	灰溶融炉設備および下水 汚泥処理設備の運転 および保守業務請負
大同プラント工業株式会社 (名古屋市中南区)	36	64.4	工業炉の設計、製作および販売 工業炉の保守、点検および修理

流通・サービス

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社大同ライフサービス (名古屋市中南区)	百万円 490	% 100.0	当社および子会社等の福利 厚生施設の管理運用 不動産・土木建設・保険・ 印刷事業等
株式会社大同分析リサーチ (名古屋市中南区)	75	100.0	鉄鋼、製鋼、鋳物およびセラ ミックス等の分析・試験・ 調査業務の請負
株式会社スターインフォテック (名古屋市中東区)	45	100.0	情報通信機器によるシス テムの企画、設計、開発お よび保守運用受託

流通・サービス(つづき)

会 社 名	資本金	出資比率	主要な事業内容
株式会社ライフサポート (名古屋市南区)	百万円 10	* % 100.0	清掃業、警備業および給食事業等
木曽駒高原観光開発株式会社 (長野県木曽郡木曽町)	10	* 57.4	ゴルフ場の経営および別荘地管理
有限会社タカクラ・ファンディング・コーポレーションを営業者とする匿名組合 (東京都千代田区)	495 (出資金)	100.0	複合商業施設保有のための匿名組合
大同特殊鋼(上海)有限公司 (中国上海市)	千US\$ 3,880	* 100.0	商事
Daido Kogyo (Thailand) Co., Ltd. (タイ国バンコク)	百万BAHT 100	* 100.0	商事
Daido Steel (America) Inc. (米国イリノイ州)	US\$ 9	* 100.0	商事

②重要な関連会社の状況

会 社 名	資本金	出資比率	主要な事業内容
東北特殊鋼株式会社 (宮城県柴田郡村田町)	百万円 827	% 10.0	高級特殊鋼および加工製品の製造および販売
理研製鋼株式会社 (東京都中央区)	485	39.7	特殊鋼二次製品、切削工具および工作・産業機械等の製造および販売
丸太運輸株式会社 (名古屋市瑞穂区)	100	41.3	運輸業、倉庫業、場内諸作業の請負業および土木建築請負業等
桜井興産株式会社 (名古屋市南区)	75	43.3	金属製品の熱処理の請負
泉電気工業株式会社 (東京都墨田区)	70	40.0	電気工事の設計施工および自動制御盤等の設計製作
川一産業株式会社 (川崎市川崎区)	30	35.0	沿岸荷役、倉庫および運輸業

従業員の状況 (2019年9月30日現在)

①当社グループの従業員数

セグメント区分	従業員数(名)
特 殊 鋼 鋼 材	3,558
機 能 材 料 ・ 磁 性 材 料	3,987
自動車部品・産業機械部品	3,726
エ ン ジ ニ ア リ ン グ	669
流 通 ・ サ ー ビ ス	1,349
全 社 (共 通)	486
合 計	13,775

②当社の従業員数等

従業員数(名)	平均年齢(歳)	平均勤続年数(年)
3,548	38.6	16.7

株式に関する事項 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数	116,000,000株
発行済株式の総数	43,448,769株
株 主 数	17,726名

①大株主の状況

株 主 名	株式数(千株)	株式数比率(%)
日 本 製 鉄 株 式 会 社	3,100	7.27
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,505	5.87
明治安田生命保険相互会社	2,075	4.86
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,958	4.59
株 式 会 社 み ず ほ 銀 行	1,577	3.69
日 本 発 條 株 式 会 社	1,449	3.39
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行	1,405	3.29
本 田 技 研 工 業 株 式 会 社	1,305	3.06
トヨタ自動車株式会社	869	2.03
株 式 会 社 デ ン ソ ー	800	1.87

自己株式は除いております。

②所有者別株式分布状況

所有者区分	株式数(千株)	株式数比率(%)
金 融 機 関	18,894	43.5
国 内 法 人	14,116	32.5
個 人	4,978	11.5
外 国 人	4,506	10.3
自 己 株 式	807	1.9
証 券 会 社	144	0.3

取締役および監査役 (2019年9月30日現在)

代表取締役会長	嶋尾	正	
代表取締役社長	石黒	武	
代表取締役副社長	西村	司	
代表取締役副社長	立花	一人	
取締役	吉田	学史	
取締役	天野	肇	
取締役	梶田	聡仁	
取締役	相馬	秀次	(社外取締役・独立役員)
取締役	種村	均	(社外取締役・独立役員)
取締役	神保	睦子	(社外取締役・独立役員)
常勤監査役	志村	進	
常勤監査役	水谷	清	(社外監査役・独立役員)
監査役	松尾	憲治	(社外監査役・独立役員)

執行役員 (2019年9月30日現在)

社長執行役員	石黒	武*	執行役員	松井	宏司
副社長執行役員	西村	司*	執行役員	清水	哲也
副社長執行役員	立花	一人*	執行役員	利光	一浩
常務執行役員	吉田	学史*	執行役員	梶田	聡仁*
常務執行役員	平林	一彦	執行役員	野口	祐二
常務執行役員	天野	肇*	執行役員	山下	敏明
常務執行役員	森	義昭	執行役員	鹿嶋	忠幸
常務執行役員	吉永	祐孝	執行役員	岩田	龍司
常務執行役員	竹鶴	隆昭	執行役員	石濱	辰哉
			執行役員	杉江	郁夫
			執行役員	広瀬	尚史

(注) *印は、取締役を兼務する者を示します。

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。(https://www.daido.co.jp/)

株式についてのご案内

- ・事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- ・定時株主総会 6月
- ・基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
中間配当金 9月30日
期末配当金 3月31日
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。)
- ・株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- ・同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
- ・郵便物の送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (土日・休日を除く)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
- ・公告方法 電子公告 (当社ウェブサイトに掲載)
【アドレス】<https://www.daido.co.jp/koukoku/>
※事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

(お知らせ)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等のお申出先

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金のお支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

